



令和2年7月豪雨における
坂本方面隊の記録

八代市消防団 坂本方面隊
副隊長 宮本 光治郎

令和2年7月4日から6日を振り返る

7/4 (土)

AM4:00頃

自宅周辺の河川の音で目覚める

坂本支所消防担当へ電話連絡

各分団長へ被害状況確認のため電話連絡

AM4:30 自宅前の道路が冠水し、外出不可となる



AM5:00頃

道路、田畑が土砂等で埋まる

AM6:00頃

近隣住民から救助要請も道路寸断により
断念⇒班長に対応を依頼する



AM7:00頃

携帯電話が繋がりにくくなり、各分団長
に対応を任せる

AM7:30頃

携帯電話がほぼ不通状態となる、状況把
握できず

その後

地元住民の公民館への避難誘導を行い、
運営等は地元区長にお願いする

道路が土砂に埋まり、車が出せなくなる





7/5（日）

地元消防団と合流、地元建設会社との協力により県道整地が行われ、車の通行が可能となる



7/6（月）

山本消防団長、橋本方面隊長と共に、坂本町中心部へ

住宅内に死者の存在を知るも、何もできない状態

7/6 (月)

坂本方面隊第7分団が行方不明捜索を行い、1名発見に至る
(地元住民ではなかった)

7/6（月）

避難場所となっていた坂本中学校に支援物資を運ぶ

中学校では、現役消防団員が2名活動を展開

その他自主避難所にて消防団活動





八代市消防団としての活動

- ・ 行方不明者搜索を実施

7月20日（月）、21日（火）、9月13日（日）

- ・ 坂本町の復興支援として土砂撤去作業を実施

8月8日（土）、9日（日）、10日（月・祝）

消防団による土砂撤去作業（1日目）



参集後、団長挨拶、注意事項、班分け等を行い作業に移行

※各自マスク着用、適宜消毒を行い、移動時には密を避けるといったことを確認した

※被災地の状況と被災者ニーズが不明瞭なこともあり、方面隊、分団等の区分けに時間を要してしまった（反省点）

消防団による土砂撤去作業（2日目）



1日目の経験と反省から、参集後、速やかに担当エリアの区分けや確認が終了し作業に取り掛かることができた
(評価できる点)

消防団による土砂撤去作業（3日目）



消防団による土砂撤去作業（作業状況）



藤本小学校跡地で点呼、
注意事項確認



土砂撤去、家財搬出を実施

消防団による土砂撤去作業（作業状況）



消防団による土砂撤去（作業中・後）



中央でスコップを持つのは山本団長
重機を操縦するのは、宮本副隊長



土砂撤去後

重機免許を持つ消防団員自らが
ユンボを操縦し、土砂の搬出作
業を行う

ご清聴、ありがとうございました。

がまぼろし
坂本